

平成 24 年 7 月 18 日

院内倫理委員会（迅速審査）議事録

日 時：平成 24 年 7 月 18 日（水）午前 8 時 00 分～午前 8 時 20 分

場 所：災害医療棟 2 階会議室

出席者：恵谷副院長、多和副院長、是恒臨床研究センター長、小森薬剤科長、大前事務部長、渡津看護部長（中森統括診療部長は欠席）

議 題

1. 課題 149 宿主因子による HIV 感染症の制御に関する調査研究

議事：

本課題については倫理委員会細則第 10 条 3（4）共同であって、既に主たる研究機関において倫理委員会の承認を受けた計画を分担研究機関として実施しようとする場合の計画の審査、に該当し、遺伝子検索は限定的であるため迅速審査で可と考える。

申請者 白阪琢磨部長より以下のように説明がなされた。

この研究内容についてはすでに受託研究審査委員会第 2 委員会で承認されている。HIV 感染症の進行には個体差があり、長期未発症者そして急速進行者の存在が知られている。近年、*in vitro* において、HIV の感染・複製に関与する宿主因子が複数同定されているが、その宿主遺伝子の遺伝的多様性が HIV 感染症の進行にどのように影響するかは明確でない。本研究では、今日までに HIV の感染や複製に関与すると報告されている宿主因子の遺伝子多様性について、HIV 感染者とハイリスク健常人集団との比較を行うことにより、HIV の病態との関連を明らかにすることを目的とする。なお、本研究で取り組む宿主因子のいくつかは既に欧米人の集団で報告があるが、宿主因子の遺伝的多様性には明確な人種差があり、日本人の集団を対象に研究をすることが重要である。

引き続き質疑が行われた。

1. 研究計画書の version 変更日履歴を 1 枚目に記載してほしい。IRB 第 2 委員会にはこの version ではないものが提出されたと思うがどこが違うか
⇒ version の履歴を記載する。変更点は 6 解析方法の部分で、全遺伝子配列解読、となっていた部分であるが、ゲノムワイドではなく記載されている遺伝子に限定されていることから、「全遺伝子」という記載を削除した。

審議の結果、以下の通りとすることで委員全員が合意した。

修正のうえ承認

1) 計画書の version 履歴につき表紙に記載すること

なお、この修正点については倫理委員会より IRB 第 2 委員会へ通知する。